

令和3年度 特別活動全体計画

宇都宮市立宝木中学校

生徒の実態と課題
・明るくのびのびと活発に活動するが、粗野である
・規範意識が低く、流されやすい
・人間関係を築く力が乏しい

学校や地域の実態と課題
・仕事が忙しく、子どもとかわる時間を十分に確保することが難しい家庭が多い
・保護者に卒業生が多く、学校教育への理解はあるが、依存心も強い

保護者の願い
・健康で安全な生活、確かな学力の保証
・自己理解をすすめ、自己の能力を伸ばそうとする生徒
・自分の将来について主体的に考え、行動できるようになってほしい

家庭・地域等との連携
・茶道教室、断郊競歩大会等への支援
・地域事業所における社会体験学習
・PTAによるバザー開催

環境整備
・校舎内外の美化、緑化を通して整理整頓や奉仕の心を養う
・掲示物の工夫や施設整備、備品等の管理を通して、学習環境の改善に努める

人権教育との関連
・人権教育で培っている「知性」「判断力」「感受性」「実践力」という育てたい能力・態度を特別活動のあらゆる場面に活かす
・「人権尊重の精神を踏まえて、偏見や差別のない民主的な人間関係を作る態度を身につけた生徒の育成」「ものごとを科学的、合理的に判断できる生徒の育成」「豊かな情操を持ち、集団生活の向上に尽くす生徒の育成」

生徒指導との関連
・特別活動において共感的な人間関係を育成し、生徒に自己決定の場や機会をより多く用意し、生徒が自己表現の喜びを味わうことができるよう指導上の配慮を行う

特別活動実施上の留意点
・ガイダンス機能の充実を図る
・家庭や地域の人々との連携を図る
・宝木中の特色を出せるよう努める
・各教科、道徳との関連を活かす
・生徒指導の機能を十分に活かす
・心を育てる教育を目指す

学校の教育目標		
人間尊重の教育を基盤に、知・徳・体の調和のとれた発達を目指し、心身共に健康で知性と創造性に富み、心情豊かでたくましく未来を拓く人間の育成		
①気力・体力のあるたくましい生徒（たくましく） ②自ら学びよく考える生徒（さとく） ③心豊かで礼儀正しい生徒（あかるく） ④協力し社会に役立つ生徒（いきいきと）		

特別活動の目標		
望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う		
学級活動の目標	生徒会活動の目標	学校行事の目標
学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる	生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる	学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる

特別活動の重点目標		
・生徒ひとりひとりが役割を分担し、話し合いや係活動を通して、学級生活や学校生活の向上に努める生徒の育成 ・互いに認め合い、自己と集団の向上のために協力して活動できる生徒の育成 ・自己の個性をよく理解し、集団や社会の中で自己を生かしていこうとする生徒の育成 ・自己の生き方や将来への目標をもち、これに向かって自主的に実践していこうとする生徒の育成		

時代や社会の要請や課題
・社会全体のモラルの低下
・家庭や地域の教育力の低下
・社会体験、自然体験の不足
・豊かな人間関係の形成
・ネット社会におけるSNS等でのトラブル

教職員の願い
・心やさしく素直
・望ましい人間関係を築く
・豊かな人間性や社会性の育成
・自分の将来について主体的に考え、行動できる
・たくましく、いきいきと生きる

道徳との関連
・学級における役割分担と協力を通して、責任感・連帯心を育て、集団生活の向上を図る。
・自主的な活動を通して、協力・奉仕・友愛の精神を高める。
・各種学校行事を通して、協力心・愛校心・自主性・公共心・奉仕の精神など、望ましい集団生活のあり方を養う。

総合的な学習との関連
・総合的な学習の時間で培っている「自ら学び、自ら考え、自ら行動する」という姿勢を、特別活動のあらゆる場面に活かす
・「自分と社会を見つめる力」「自ら課題を見つける力」「人とのコミュニケーション、共感能力」「ものの見方、考え方を高める力」の育成

各教科との関連
・国語科の話し合い活動、言語による表現や発表
・社会科の調査活動
・各教科での問題解決やまとめ
・各教科における話し合い活動

その他との関連
・学級経営の核に学級活動を据える

各学年の指導の重点

第1学年	第2学年	第3学年
・中学生としてのあり方や望ましい生活をよく理解させ、中学生としての自覚を持たせる。 ・集団における各自の役割を意識し、集団の一員としての自覚を持たせる。	・中堅学年としての責任と自覚をもち、積極的に活動させる。 ・集団において他人を尊重し、よりよい人間関係を築かせる。	・最高学年としての責任と自覚をもち、自主的、自発的な言動に努めさせる ・自己を生かし、社会に貢献できる進路選択に努めさせる

	学級活動	生徒会活動	学校行事																															
重点目標	・他の人の意見を尊重することで、互いに個性を大切にし、高め合える集団の形成を図る ・学級の中で起きるさまざまな問題を、自分たちで話し合い、注意し合い、助け合いながら解決していけるような力を養う ・ひとりひとりが自分の役割に責任を持ち、行動する力を育てる ・他の人と関わる中で、自分の生き方を探していける力を育む	・よりよい学校生活づくりを通して、自発的、自治的な能力を高める ・全校生徒が生徒会会員としての自覚を持ち、よりよい校風づくりに尽力できる態度を養う ・ボランティア活動等の社会参加を通して、社会貢献の精神を育む ・集団や社会の一員としてふさわしい人格と生活態度を養う	・学校行事への積極的な参加を通して、集団への所属感や連帯感を高めさせ、集団において望ましい言動ができる自主的、実践的な態度を育てる ・日常の学習成果を総合し、発展の場とすることで、よりよい学校生活づくりに参画させる																															
	(1)学級や学校の生活づくりへの参画 ア、イ、ウ (2)日常の生活や学習への適応と成長及び健康安全 ア、イ、ウ、エ、オ (3)一人一人のキャリア形成と自己実現 ア、イ、ウ	(1)生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営 生徒総会、校内パトロール、地域美化活動、校内花壇整備、宝木中学校環境ISO、生徒会誌発行、生徒会新聞発行、3年生を送る会、新入生対面式、小中合同あいさつ運動など (2)学校行事への協力 文化祭、体育祭など (3)ボランティア活動などの社会参加 豊学校との交流会、高齢者介護施設でのボランティア活動、地域の体育祭でのボランティア活動、地域の文化祭でのボランティア活動	(1)儀式的行事 入学式、卒業式、始・終業式など (2)文化的行事 文化祭 (3)健康安全・体育的行事 体育祭、断郊協歩大会、身体計測など (4)旅行・集団宿泊的行事 修学旅行、冒険活動 (5)勤労生産・奉仕的行事 社会体験学習、各種学校行事の準備																															
	・道徳的実践の指導の充実 ・道徳との関連、人権との関連を明確にした年間指導計画 ・毎時間の評価と小中一貫教育の視点を明確にした年間指導計画 ・人間関係づくりをねらいとする社会的スキル教育等の適切な時間での取り組み ・全教科における話し合い活動の充実	・小学校との合同による活動 ・異年齢集団によるボランティア活動 ・宝木中学校環境ISO ・各委員会の活動を活性化して生徒会活動の充実を図る ・生徒会執行部企画による活動 ・SDGs（持続可能な社会）を意識した活動の推進	・PTAとの連携による断郊協歩大会 ・学校行事後の振り返り活動の重視																															
時間・組織		内容(1)	内容(2)	内容(3)	計	・修学旅行、社会体験学習、冒険活動などの学年行事は、該当学年の教職員、生徒が中心となって企画、実施する。 <table><tr><td></td><td>内容(1)</td><td>内容(2)</td><td>内容(3)</td><td>内容(4)</td><td>内容(5)</td><td>計</td></tr><tr><td>1年</td><td>9</td><td>4</td><td>8</td><td>5</td><td>5</td><td>31</td></tr><tr><td>2年</td><td>9</td><td>4</td><td>8</td><td>3</td><td>16</td><td>40</td></tr><tr><td>3年</td><td>9</td><td>4</td><td>8</td><td>5</td><td>3</td><td>29</td></tr></table>		内容(1)	内容(2)	内容(3)	内容(4)	内容(5)	計	1年	9	4	8	5	5	31	2年	9	4	8	3	16	40	3年	9	4	8	5	3	29
		内容(1)	内容(2)	内容(3)	内容(4)		内容(5)	計																										
	1年	9	4	8	5		5	31																										
	2年	9	4	8	3		16	40																										
3年	9	4	8	5	3	29																												
1年	15時間	11時間	9時間	35時間																														
2年	12時間	12時間	11時間	35時間																														
3年	14時間	10時間	11時間	35時間																														

評価	・学級活動(1)～(3)、生徒会活動(1)～(3)、学校行事(1)～(5)を内容のまとまりとして、「集団活動や生活への関心・意欲・態度」「集団や社会の一員としての思考・判断・実践」「集団活動や生活についての知識・理解」の三つの評価の観点を設け、それらごとに評価規準を作成して評価する。 ・学級活動は担任、生徒会活動は専門委員会顧問および担任、学校行事は専門委員会顧問および担任が評価する。	・生徒会執行部や各種の委員会が、全校生徒対象にアンケート調査を行い、活動の見直しと改善を図る。 ・評価結果を分析し、次なる取り組みに活かす。	・事後の感想文や発表会で活動の成果と課題を生徒が相互評価する。 ・担当者が教師対象に企画から事後の事務処理に至るまでのアンケート調査を行い、結果を分析し、次なる取り組みに活かす。
	・事前から事後の活動までの過程で、生徒の変容を促す手立てを講じる。 ・集団決定や自己決定をした内容の実践の成果と課題を自己評価や相互評価、教師による観察等で評価し、よりよい実践につなげる。		